

第58期 報告書

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

HEPHAIST

それは価値を創造する個性ある集団です。



第59期経営方針

『全ての職種、職場に共通する
品質は“約束を守ること”』

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当社第58期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策、金融政策等の効果を背景とする企業収益の改善が、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加につながり、緩やかな回復基調にありましたが、消費税の増税、相次ぐ自然災害等により景況感が悪化したことに加え、米中貿易摩擦の長期化、新型コロナウイルス感染拡大等の懸念事項も多く、世界経済の先行き不透明感が増しております。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れ、継続的に現場改善等に取り組み、さらに、新型コロナウイルス感染予防等のリスクマネジメントも講じ、供給体制を維持して参りました。

しかしながら、当連結会計年度の売上高は主力製品の直動機器を中心に精密部品加工、ユニット製品のすべての品目で売上が減少し、2,319,458千円(前連結会計年度比15.7%減)となりました。

利益面につきましては、原価低減が図られたものの、将来を見据えた内製化強化のための設備に対する先行投資による償却費や修繕費の増加等により、営業損失21,428千円(前連結会計年度は、営業利益177,979千円)、経常損失25,502千円(前連結会計年度は、経常利益177,274千円)、特別損失に減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失342,956千円(前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純利益111,975千円)となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、輸出や設備投資の低迷により、産業用機械業界等からの受注が落ち込み、当連結会計年度の売上高は1,241,919千円と前連結会計年度と比べ375,186千円の減少(前連結会計年度比23.2%減)となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品を中心に顧客からの高精度化や短納期の要望に応え続けてきましたが、顧客の調整局面もあり、売上高は804,417千円と前連結会計年度と比べ43,151千円の減少(前連結会計年度比5.1%減)となりました。

ユニット製品につきましては、国内向けのレポート需要はあったものの、中国向けの減少により、売上高は273,122千円と前連結会計年度と比べ12,354千円の減少(前連結会計年度比4.3%減)となりました。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への悪影響の長期化が懸念される一方で、長期的には中国における産業への設備投資の伸張、IoTやAIの進展による省人化、機械化、合理化の設備投資の期待もであると予想されます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響が見通せず予想が困難であることから、2021年3月期の業績予想は現時点では未定とさせていただき、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

また、新型コロナウイルスの影響により、全世界が混乱している状況にあり、長期的な対策や対応が必要であると考えられ、当社グループとしても、従業員全員の情報共有及び感染防止に向けた対策・対応に取り組んでおります。

当社グループは、このような事業環境の中で、納期遵守を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

主な重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② 顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売
- ③ 提案型技術営業による新規顧客開拓
- ④ 感染症対策として、情報収集、対応策の検討と実施

(注) QCDとは、高品質(Quality)、低価格(Cost)、短納期(Delivery)の略。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化及び将来にわたる安定した株主利益の確保のため、事業の拡大・合理化投資及び厳しい経営環境に勝ち残るための新技術・新工法開発のために有効活用していきたいと考えております。

しかしながら、当事業年度につきましては、業績の向上に鋭意努めて参りましたが、当期の業績を勘案いたしまして、誠に遺憾ながら期末配当につきましては、無配とさせていただきます。

次期配当につきましては、現時点では未定としております。

2021年3月期の業績予想公表時に、検討いたします。

当社は、ギリシャ神話の中で、鍛冶の神、工芸の神、火の神として価値を創造する個性ある人格神として登場するヘファイストス(HEPHAISTOS)から、鋼を極める高度の技術、創造とファインメカニカルへの情熱を燃やし続けたいとの願いを社名に込めております。

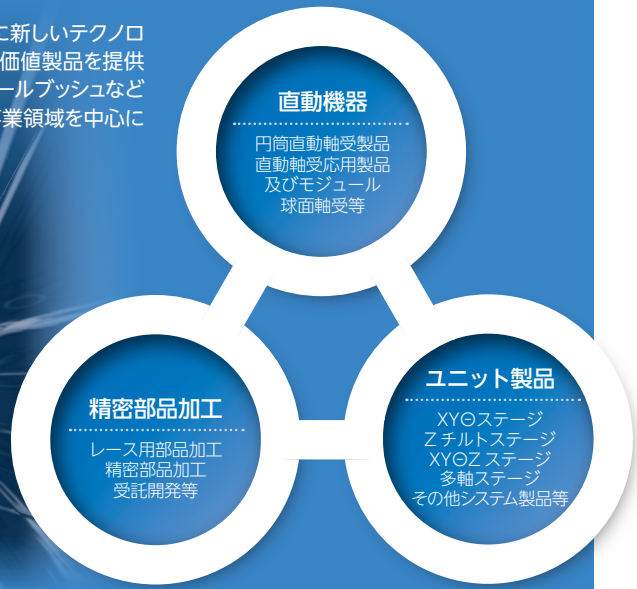
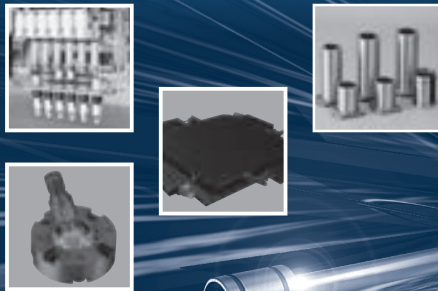
さらなる事業領域の拡大に加えて、コーポレートブランド「ヒーハリスト」の認知度を高め、ブランド訴求力を強めるため、今後当社が目指してゆく経営ビジョンにふさわしい社名とするため、7月1日付で社名を「ヒーハリスト株式会社」と変更することで承認可決されました。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

事業概要

当社は、1962年の設立以来、リニアポールブッシュのパイオニアメーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべく技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアポールブッシュなどの直動機器、精密部品加工及びポジショニングステージなどのユニット製品の3つの事業領域を中心に新たな分野へ挑戦し、企業価値の拡大を目指して参ります。



連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	58期 2020年3月31日	57期(ご参考) 2019年3月31日
資産の部		
流動資産	2,277,110	2,628,019
固定資産	1,976,645	2,265,600
有形固定資産	1,698,341	2,063,189
無形固定資産	24,628	17,852
投資その他の資産	253,674	184,559
資産合計	4,253,756	4,893,619
負債の部		
流動負債	734,221	1,137,338
固定負債	557,631	381,609
負債合計	1,291,852	1,518,948
純資産の部		
株主資本	2,957,642	3,369,049
その他の包括利益累計額	4,260	5,622
純資産合計	2,961,903	3,374,671
負債純資産合計	4,253,756	4,893,619

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	58期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	57期(ご参考) 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	2,319,458	2,750,151
売上原価	1,855,093	2,059,027
売上総利益	464,365	691,124
販売費及び一般管理費	485,794	513,144
営業利益又は営業損失(△)	△21,428	177,979
営業外収益	6,352	11,492
営業外費用	10,426	12,197
経常利益又は経常損失(△)	△25,502	177,274
特別利益	14	67
特別損失	356,200	1,434
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△381,687	175,907
法人税、住民税及び事業税	5,736	68,836
法人税等調整額	△44,468	△4,904
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△342,956	111,975

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	58期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	57期(ご参考) 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	△79,081	254,249
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△134,396	△211,497
財務活動によるキャッシュ・フロー③	83,738	△199,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,119	△4,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△131,859	△161,060
現金及び現金同等物の期首残高	951,565	1,112,626
現金及び現金同等物の期末残高	819,706	951,565

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

58期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	732,552	679,512	1,957,701	△716	3,369,049
当期変動額					
剰余金の配当			△25,250		△25,250
親会社株主に 帰属する当期純損失(△)			△342,956		△342,956
自己株式の取得				△43,200	△43,200
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△368,207	△43,200	△411,407
当期末残高	732,552	679,512	1,589,494	△43,916	2,957,642
	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高					3,374,671
当期変動額					
剰余金の配当					△25,250
親会社株主に 帰属する当期純損失(△)					△342,956
自己株式の取得					△43,200
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	651	△2,013	△1,361		△1,361
当期変動額合計	651	△2,013	△1,361		△412,768
当期末残高	556	3,704	4,260		2,961,903

連結貸借対照表のポイント

資産の部

減損損失を計上したことにより有形固定資産364,847千円、また、現金及び預金131,859千円、売上債権161,664千円減少しました。

設備投資の総額は161,864千円となりました。

負債の部

社債130,000千円、長期借入金44,692千円増加に対し、仕入債務333,846千円減少しました。

純資産の部

自己株式43,200千円増加、利益剰余金368,207千円減少しました。

連結損益計算書のポイント

売上総利益は、将来を見据えた内製化強化のための設備に対する先行投資による償却費や修繕費の増加により減少しました。

特別損失に減損損失355,228千円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

① 仕入債務の減少により、資金が減少しました。

② 固定資産の取得により、資金が減少しました。

③ 長期借入金、社債の発行により、資金が増加しました。

連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産は、自己株式が増加し、利益剰余金が減少しました。

株式の状況

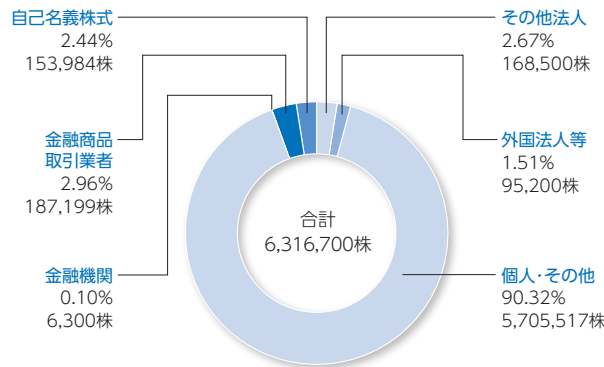
株式の状況 (2020年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 18,720,000株
発行済株式の総数 (自己株式153,984株を除く) 6,162,716株
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,424	23.12
尾崎 文彦	1,302	21.14
小川 由晃	180	2.92
松井証券株式会社	87	1.42
金井 俊和	85	1.39
高水 永夫	81	1.31
THK株式会社	50	0.81
ヒーハイト精工社員持株会	47	0.77
佐藤 史隆	39	0.63
三浦 美保子	34	0.55

(注) 1. 持株比率は自己株式 (153,984株) を控除して計算しております。
2. 当社は、自己株式を153,984株保有しておりますが、上記大株主から除いております。

所有者別株式数 (2020年3月31日現在)



第58期定時株主総会に関するご報告

2020年6月25日開催の第58期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記の通りです。

記

報告事項

第58期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 取締役6名選任の件

本件は、原案どおり取締役として尾崎浩太氏、尾崎文彦氏、福留弘人氏、菜花有三氏、佐々木宏行氏、天野雅人氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり監査役として上條弘氏が選任され、就任いたしました。

会社の概要

会社の概要 (2020年3月31日現在)

社名 ヒーハイト精工株式会社

本社 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,280㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山山下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-1192

海外 赫菲(上海)軸承商貿有限公司 (中華人民共和国)

設立 1962年7月19日

資本金 732,552,000円

従業員 109名 (38名)
(外、平均臨時雇用者数)

役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役	菜花 有三
取締役	佐々木 宏行
取締役 (社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役 (社外)	上條 弘
監査役 (社外)	菅野 浩正

株主メモ

事業年度 4月1日~翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領株主確定日 3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場金融証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)

証券コード 6433

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告の方法により行う。

公告掲載URL <http://www.hephaist.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式会社のお手続きに関するお問い合わせ】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター
(東京) フリーダイヤル 0120-232-711
受付時間: 土・日・祝祭日を除く 平日9:00~17:00

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※ 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

以上